

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

ホ

男子 ・女子 3 回戦 ・準々決勝 ・準決勝 ・決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 A コート

チーム名								チーム名			
				総得点							
				13 — 7							
				9 — 11							
洛北高等学校				22				18			
								玉野光南高等学校			
				7mTC							

選抜大会 3 回戦第 3 試合は、昨日接戦で県立富岡東に勝った第 3 シードの洛北と今治東中等教育学校に逆転勝ちした玉野光南との対戦。玉野光南のスローオフで試合開始。洛北 15 番（南）の先制シュートで始まる。開始 7 分過ぎ、洛北 4 番（菊池）のポストプレーが決まり、4 対 0 洛北のリード、思わず玉野光南 T0。洛北 GK12（山本）の好セーブもあり、開始 10 分過ぎようやく玉野光南 2 番（平松）のミドルが決まり初得点となる。開始 20 分過ぎ、8 対 5 となる。洛北 11 番（瀧石）のシュートが決まりリズムをつかまえようとするが、玉野光南 2 番（平松）にミドルを決められ、開始 21 分に洛北 T0。洛北は開始 24 分過ぎに 2 人の退場選手を出す、逆に速攻などで得点を入れ突き放す。前半 13 対 7 で終了。後半早々玉野光南 5 番（大間）の速攻が決まる。洛北 10 番（小泉）のポストプレーで得点を入れ、玉野光南は退場者を出し得点を入れられ、後半開始 12 分過ぎ洛北 8 点のリードとなり、玉野光南 T0。その後、洛北は玉野光南の DF を攻めあぐみ、後半開始 22 分過ぎ、玉野光南 3 点差まで追い上げるが、最後は 22 対 18 で終了。洛北は準々決勝進出を決める。

2017 年 3 月 26 日

記載者氏名 中野 健

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男子 ・女子 3 回戦 ・準々決勝 ・準決勝 ・決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 B コート

チーム名				チーム名			

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男ハ

男子 ・ 女子 3 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 神戸国際大学附属高等学校

チーム名	総得点		総得点	チーム名
愛知高校	34	18 — 10 16 — 6 — — — 7mTC	16	川西緑台高校

大会3日目第3試合は、昨日浦実との接戦を制した地元兵庫の川西緑台と東海地区1位の愛知との対戦。

大歓声の中、愛知のスローオフで試合開始。試合開始直後、愛知13番のカットインで先制。先制点を

含む6連続得点で、川西緑台はたまらずタイムアウト。タイムアウト後、川西緑台6番のシュートで1

点を返すが、そこから愛知は4連続得点をあげ、川西緑台は2度目のタイムアウト。川西緑台はセット

プレー、ダブルポストを絡めて愛知DFの壁をこじ開け得点を重ねる。愛知はクロスアタックからの速攻、

速いパスワークからのカットイン、ロングで得点を重ね、前半は18-10で愛知がリードで折り返す。

後半も愛知が試合を優勢に進める。巧みなパスワークで川西緑台DFを翻弄。川西緑台は7人攻撃を仕掛

けて食らいつく。しかし、フットワークを使った愛知DFを崩せない。苦しい体勢からシュートを打たさ

れ、速攻に繋がられて得点を奪われる場面が増える。最後まで諦めず、攻め続けた川西緑台であったが、

安定した試合運びで東海地区1位の实力を見せつけ、愛知が34-16で勝利を収め、ベスト8進出を

決めた。

29年 3月 26日

記載者氏名 妻木 啓晃

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男ト

男子 ・ 女子 3 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 神戸市立中央体育館

チーム名	総得点		総得点	チーム名
昭和学院	27	13 14 — — — — 7mTC	14 16 — — — —	北陸

第3回戦。各ブロック1位同士の昭和と北陸の一戦。スローオフは北陸。開始早々、北陸は9番中村のループシュートで先制する。さらに相手のミス突き速攻で連続得点、一気に差を広げる。前半10分、昭和は3番島村の得点から4連続で得点し差を1点にまで縮める。しかし北陸は同点を許さない。速攻で得点を重ね、再び差を広げる。昭和も追い上げを見せるが、20分に交代で入った北陸のキーパー1番笹本の2連続スーパーセーブもあり、追いつくことができない。北陸1点リードで前半を終える。

後半立ち上がり、北陸は13番落田が2本続けて7mを取り、それを9番中村がしっかりと決めて流れを掴む。昭和は6番中沢のロングシュートなどで必死に追い上げるが、北陸の攻撃を止められず点差はなかなか縮まらない。後半25分からは3-3ディフェンスと速攻で最後の追い上げを見せるが、北陸は中村の得点でそれを振り切る。3点差がついたままタイムアップ。何度も追い上げを見せた昭和だったが最後まで北陸の背中をとらえられなかった。

29年 3月 26 日

記載者氏名 薄井 彰宏